

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:令和3年度】

※1～6: 所管課記入、7: 指定管理者記入、8～9: 指定管理者及び所管課記入、10: 指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	県民文化部文化政策課
指定管理者	一般財団法人長野県文化振興事業団

1 施設名等

施設名	長野県伊那文化会館	住所 電話 ホームページ	長野県伊那市西町5776 0265-73-8822 https://inabun.jp/
-----	-----------	--------------------	--

2 施設の概要

設置年月	昭和63年12月	根拠条例等	長野県文化会館条例
設置目的	県民の文化の振興と福祉の増進を図るため設置する。		
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホール(1,371席)・・・舞台設備、音響設備、照明設備、楽屋(5室) ・小ホール(436席)・・・舞台設備、音響設備、照明設備、楽屋(2室) ・美術展示ホール、プラネタリウム(80席)、レストラン、駐車場(普通車590台・身障者用6台、近隣施設と共用) 		
利用料金	大ホール(32,200～388,300円)、小ホール(8,500～102,400円)、楽屋(800～5,900円)、美術展示ホール(4,400～27,770円) プラネタリウム(120～400円)、その他「附属設備」「冷暖房」「持込電気器具電気料」など		
開所日	毎週月曜日、祝日の翌日、年末年始(12月28日から1月3日まで)及び保守点検日を除いた日		
開所時間	通常: 9:00～17:00、最長: 8:00～21:30(ただし、美術展示ホールは18:00まで)		

3 現指定管理者前の管理運営状況

期 間	管 理 形 態	管理受託者又は指定管理者等
～平成17年度	管理委託	財団法人長野県文化振興事業団
平成18年度～20年度	指定管理	財団法人長野県文化振興事業団
平成21年度～25年度	指定管理	一般財団法人長野県文化振興事業団
平成26年度～30年度	指定管理	一般財団法人長野県文化振興事業団

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	一般財団法人長野県文化振興事業団	指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日(5年間)
選定方法	非公募		

5 指定管理料(決算ベース)

令和3年度(A)	令和2年度(B)	差(A)－(B)	※(A): 当該年度、(B): 前年度(以下同じ)
221,362 千円	205,908 千円	15,454 千円	
	増減理由	令和2年度指定管理料は7月から2月までの工事休館に伴い減額となっていたため。	

6 指定管理者が行う業務

<ul style="list-style-type: none"> ・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・文化会館の利用の許可及び利用料金に関する業務 ・芸術文化の振興に資する事業の企画及び実施に関する業務 ・上記業務に附帯する業務
--

7 利用実績等

(1) 利用実績【指標: 稼働率】

(単位: %)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和3年度(A)	32.7	28.9	26.9	68.0	40.0	27.1	68.3	68.0	48.9	22.8	47.8	37.0	43.0
令和2年度(B)	0.0	0.0	14.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.1	39.1
(A)/(B)	-	-	190.8	-	-	-	-	-	-	-	-	57.7	110.1
増減要因等	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、4月および5月は臨時休館のため利用なし。また、7月から2月まで改修工事のため休館。												

(2) 利用料金収入

(単位: 千円、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度(A)	804	▲1,226	627	302	1,617	125	1,213	1,091	2,904	763	99	702	9,021
令和2年度(B)	▲2,532	378	566	720	579	235	950	649	474	82	88	1,286	3,475
(A)/(B)	▲31.8	▲324.3	110.8	41.9	279.3	53.2	127.7	168.1	612.7	930.5	112.5	54.6	259.6
増減要因等	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、4月および5月は臨時休館のため利用なし。また、7月から2月まで改修工事のため休館。												

(様式2)

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
なし	

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
令和3年度(A): 297日	令和3年度(A): 9:00~21:30	無	
令和2年度(B): 62日	令和2年度(B): 9:00~21:30		

(5) サービス向上のため実施した内容

申込期限を過ぎても可能な限り期間外申請を受けると、利用者の要望に応えた。
また、閑散期(4月)の割引、申込期限(40日前)を過ぎてからの時間貸し制度を行うなどして利用促進を図った。
新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館の利用取消の場合、全額還付を行った。

(6) その他実施した取組内容

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策(検温器の設置、消毒液の設置、イベント後の客席等の消毒の実施等)
建物周囲・ロビー・洗面室等の清潔さを確保するほか、植栽の管理を行った。

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

運営協議会や利用者懇談会を開催し、自主事業の新しい企画の要望、プラネタリウムの活用、学校・生徒との関わり、障がい者の鑑賞機会、リハーサル室の設置、新型コロナウイルス感染症の影響や感染症対策など多方面について多くの意見をいただき、今後の運営に役立てることができた。
また、自主事業の来場者へのアンケート結果では、回答者の約9割から、催し物の内容及び職員の対応について「大変良い」又は「良い」との高い評価を得ている。
当館では、地域の文化芸術の振興に貢献すべく、当館の利用者の多くが地域の芸術文化団体や学校であることから、それらとの関係を強化、連携協力しながら、地域の多様で幅広いニーズに対応した事業を展開し、地域全体での文化力向上に努めている。
また、多様な地域ニーズに応える取組のひとつとして、例えば、文化芸術を通じ誰もが参加できる社会の実現のため演奏会に障がい者の方々を招待したところ、とても喜ばれたが、今後も様々なかたちで地域の文化芸術の振興と福祉増進に努めていく。
施設整備、環境については、大規模改修工事によりホールの音響や客席環境、プラネタリウムの機能を向上させたほか、敷地内の成長しすぎた樹木の伐採と花壇の新設を行い管理及び景観を改善したが、こうした改善点を当館の強みとして活用していくほか、情報発信により利用促進を図っていく。
課題のリハーサル室の増設や駐車場の確保については、伊那市等関係部署と調整を進めているところである。
感染症対策については、今後も引き続き、最新の感染状況や感染症対策等の情報を常に把握し、利用者等の理解と協力を得ながら、安全・安心を担保できる適切な対策を講じていく。

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	<p>「県民の文化振興と福祉の増進」を使命として、「提案書」「計画書」に掲げた目標達成に努めた。</p> <p>管理運営者として要求される「サービスの向上」と「経費の縮減」に沿って、管理運営を行ってきた結果、主要業務である「施設管理」「貸館事業」「自主事業」において、概ね計画どおり業務を遂行できた。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、貸館や予定していた自主事業の多くがキャンセルや延期・中止となった。</p> <p>管理運営については、安全な施設管理を行うとともに、電力使用量の節減を図るなど環境に配慮した運営に努めた。</p> <p>財政的にも効率的な運用に努めた結果、計画どおりの収支となり純益も出すことができた。</p> <p>貸館事業においては、利用者の平等利用に努め、利用者の立場に立った貸館サービスを行った。</p> <p>このように、幅広いニーズに対応した事業を展開し地域文化の振興に貢献することができた。</p>	基本協定書、仕様書及び年度計画書に基づいた管理運営が実施されたと認められる。	B
平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・会館を利用しようとする人・団体に対しては、制限をしていない。 ・主に南信地域の幅広い地域の人々へ、またグループ・個人を問わず学び、参加し、創造し、発信しようとする幅広い県民へ、平等公平な利用の確保に努めた。 	平等な利用が確保できたと認められる。	B
利用者サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新、SNS、メディア(プレスリリース)、「イベントガイド」等で県民への情報提供を図った。 ・イベントアンケートや運営協議会、利用者懇談会等を通じて利用者意見を取り入れた。 ・25歳以下のチケット料半額割引制度を導入し、若者が良質の文化芸術の鑑賞を得やすくした。 ・敷地内の成長しすぎた多数の樹木の伐採と花壇の設置により環境整備を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新や、新たな割引制度の導入等により、利用者サービスの一層の向上を図っている。 ・アンケートや利用者懇談会等を通じて利用者のニーズの把握に努め、利用者の意見に対して柔軟に対応している。 ・敷地内の樹木伐採及び花壇の設置により、景観整備に取り組んでいる。 	A

項目	指定管理者	所管課	評価
自主事業	<p>地域文化の振興に貢献するため、34事業を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響から8事業が中止や延期となったため、合計26事業を実施した。幅広いニーズに対応した事業を展開し、地域文化の振興に貢献することができた。</p> <p>主な自主事業の状況は以下のとおり。</p> <p>①信州アルプスシニア合唱祭(4月14日～15日) 全国からシニア世代の合唱団を公募し、2日間で12団体が参加して合唱祭を行った。コロナ禍でもシニアの方々が元気に演奏される姿があり大変感動を呼んだ。日本合唱連盟の岸信介先生、古橋富士雄先生による参加合唱団への楽しく温かな講評コメントも参考になったと好評を得た。</p> <p>②NHK交響楽団 伊那公演(5月30日) 日本を代表する指揮者の秋山和慶、ピアニストの小山実稚恵を迎えて、チャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番、ドヴォルザークの交響曲第9番「新世界から」など、リニューアル記念に相応しい華やかなプログラムで演奏会を開催した。コロナ禍で久しぶりに生演奏を聴いたという方も多く、力強い演奏に勇気づけられ感動したとの声が寄せられた。リニューアル後のホールの響きの良さや客席シートの快適性も好評だった。</p> <p>③オペラ「ばらの騎士」ハイライト(9月20日) 日本を代表する声楽家団体「東京二期会」協力の下、美しい音楽とロマンティックな作品として名高い「ばらの騎士」を、当館オリジナルのハイライト公演として開催した。演奏レベルの高さや作品内容の良さなどから来場者の満足度も非常に高く好評を得ることができた。地域の中高校生などを招待し若年層の鑑賞機会を積極的に創出したことで、次世代の鑑賞者の育成にも寄与することができた。</p> <p>④南信オーケストラフェスティバル(6月27日)※中止 南信地域の3つのアマチュアオーケストラ(伊那フィルハーモニー交響楽団、諏訪交響楽団、飯田交響楽団)が一堂に集い、共演する演奏会を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により出演を辞退する団体が出たため開催中止とした。</p> <p>⑤いなぶん・こどもフェスティバル(8月21日) 子どもから大人まで家族で楽しめる「エバリー・ファミリーコンサート」を中心に、「バルーン・アート」やプラネタリウムの無料投映なども同時に開催して一日館内で楽しめるフェスティバルを行った。親子連れを始め多くの方にご来場いただき楽しんでいただいた。</p> <p>⑥第14回信州農村歌舞伎祭(2月13日)※中止 南信地域に伝わる地芝居を一堂に会しての歌舞伎祭ということで計画し、田立歌舞伎保存会、大鹿歌舞伎保存会、下條歌舞伎保存会の出演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により出演を辞退する団体が相次いだため開催中止とした。</p> <p>⑦美術展示ホール 「トライアルギャラリー2021(若手作家の公募個展)」、長野県立美術館との共同主催で行った「2021長野県立美術館移動展 in 伊那文」、「伊那谷で育った中村不折に続け！子どもたちの書初め書道展」などを開催した。 県立美術館移動展では、南信地域で県立美術館の収蔵作品を観る機会を提供することができ、地域の方々にも大変好評であった。</p> <p>⑧コラボ・プラネタリウム(3月13日)※延期 地元の中学校演劇部の生徒がプラネタリウムで演劇を行う事業として計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により部活動が停止となったため開催延期とした。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止・延期となった事業もあったが、感染症対策を徹底した上で、事業の実施が図られた。また、音楽以外にも美術やプラネタリウム(天文)など施設の特色を活かした事業が広く展開されている。</p>	A
職員・管理体制	<p>職員16人。 協定書(事業計画書)に基づき館長、副館長、総務課・事業課・舞台課を配置。 課長等以上で構成する検討会議を設置し、管理運営等事項について検討・決定した。 検討結果については、調整会議、各課会等で全職員に周知徹底した。</p>	<p>仕様書及び年度計画書に基づく適正な職員配置が行われている。</p>	B
収支状況	<p>一般会計は、収入232,326千円に対し支出225,749千円であり、収支差額6,577千円の黒字となった。</p>	<p>収入の確保及び経費の削減に努め、効率的な管理運営を行っている。</p>	B
総合評価	<p>令和3年度はリニューアルオープンの中で期待をしていたが、新型コロナウイルスの影響により催し物の中止・延期が生じ、実施できた事業は例年に比べ少なかった。そのような中においても、感染対策を徹底しつつ、地域連携・地域参加型といった当館の特徴を活かした事業を行い、地域の文化芸術の振興に資することができた。 管理運営面においては、多くの声に耳を傾け、県民サービスの提供を行い、財政面においても効率的な運用に努めた結果、純益を出すことができた。 このように、全職員が一丸となって事業運営に取り組んだ結果、求められる成果を十分果たすことができたと評価している。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響を受ける中であったが、館の特徴を生かした事業の実施が認められた。概ね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。</p>	B

<評価区分> A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
施設の管理運営の課題	<p>施設設備等については、会館以来リハーサル室がないことや楽屋の十分な確保、駐車場スペースの恒常的な不足により、お客様に不便を強いていることや空調設備、大・小ホールの照明・音響設備の改修、美術展示ホールの照明等の修繕等が課題である。</p> <p>また、ITやSNSが急速に進展しているなか、利用者・顧客へのサービス向上のほか、当館の業務の効率化のためにも、その対応が求められている。</p> <p>文化芸術の振興については、当館が、南信地域の文化芸術振興の拠点としての使命を果たせるよう、当館を取り巻く情勢を十分に鑑み、魅力あふれる事業を展開していくことが必要である。また、大・小ホールはもとより、当館の強みである美術展示ホールやリニューアルしたプラネタリウムの効果的活用を積極的に図っていく必要がある。</p> <p>貸館・自主事業の集客については、人口減少、少子高齢化、趣味嗜好の多様化、経済環境の変動に加え新型コロナウイルス感染症の影響により、今後、厳しい状況が見込まれる。また、会館の長期にわたる改修工事(大規模改修工事(R2)、空調設備工事(R4~R5))に伴う施設利用の停止や新型コロナウイルス感染症の影響等により利用者離れが懸念される。</p> <p>利用者へのサービス向上を図るためには、専門性・経験・技術の継承が必要で、引き続きプロパー職員を増員するほか、研修等をさらに充実させていく必要がある。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策については、依然として感染が収束せず、引き続き、会館利用の安心・安全確保のため、感染状況に応じた適切な感染防止対策を行っていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設や設備の課題に対しては、県全体のファンリティマネジメントの中で、計画的な修繕、改善を行っていく。 利用者サービスの更なる向上のための取組をお願いしたい。 社会経済情勢や人口動態を踏まえ、リニューアルした設備を活かすなど、引き続き特色ある事業を展開し、利用者の確保に努めていただきたい。 感染症防止策については、状況に応じて、引き続き取組をお願いしたい。

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日:令和2年11月10日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課
地域に密着した施設の特色を活かした取組を、地域と協力して進めるとよいのではないかと。	美術展示ホールを活用した地域の小学生の書道展のほか、地域の中学生がプラネタリウムとコラボレートする演劇や隣接する公園での天体観望会を行っている。	館の特色である美術展示ホールとプラネタリウムを活かして、地域の小中学生と協力した事業が行われている。
施設利用料金の減免制度について積極的な広報を行い、利用者の増加を図る取組をお願いしたい。	施設利用料金の減免制度については、ホームページで紹介しているほか、外部からの問い合わせや初めての利用時には、丁寧に案内している。	減免や割引制度について幅広く周知いただき、引き続き利用促進につながる取組をお願いしたい。
託児サービスの一層の充実や、親子で来館できるサービスの充実をお願いしたい。また、地域(中学校、高校等)の行事を含めながら、身近で親しめるようなものを行うことは、利用者のサービスの向上につながると思う。	本来は応接室を託児スペースとして提供していたが、コロナ禍により現在は休止している。また、リニューアルしたプラネタリウムでは新しく親子席を設けた。地域の学校行事(入卒式、文化祭等)やクラブ活動にも多く利用していただいている。	引き続き多くの地域住民に気軽に足を運んでいただけるよう、広報等に取り組んでいただきたい。
今後スマートフォン、パソコンを使って情報収集を図る傾向は一層強まると思われることから、利用者目線に立ったホームページの充実に努めてほしい。また、フェイスブックやツイッターなど、SNSでの情報発信を進め、若年層への情報提供をより積極的に行ってほしい。	ホームページについては、令和3年4月にリニューアルし、利用者にとって、よりわかりやすくなるよう改善した。フェイスブックやツイッターによる情報発信についても令和3年度から実施しており、若年層を含む広い年代層へ情報提供を行っている。	ホームページのリニューアルなど、利用者目線の情報発信に努めている。SNS等を利用した、効果的な情報発信を引き続きお願いしたい。
地元の中・高校生の利用も多いことから、地元の中・高校生や出身者が鑑賞者、あるいは出演者となり、次世代の文化の担い手となるような自主事業は、当施設の特色を活かした企画となると思われる。	当館のジュニアオーケストラ(小学生から高校生までを対象に育成している弦楽アンサンブル)が参加する地域の小学校の合唱団が交流するコンサートのほか、地域の高校合唱部生徒による合唱祭や、生徒が一堂に会し合同で合唱を学ぶ事業などを企画・実施している。	地元の中・高校生が参加できるような、会館の特色を活かした自主事業を引き続き実施いただきたい。
職員体制について、事業課長などの欠員がみられるが、組織運営上支障のない配置に配慮してほしい。	適正な職員配置については、従前より事務局に要望しているところである。欠員に対しては、職員同士が協力するなど、組織全体で対応するようにしている。	利用者サービスとの均衡を図りながら、弾力的な勤務体制による運用をお願いしたい。